



Life is GOOD

Gyakuten Saiban Fan Book
MITURUGI & NARUHODOU
Presented By Spiegel Fish

食事？

いや、大丈夫だよ
今日はもう
閉めたから

うん

わかつた
それじやあ
また後でな

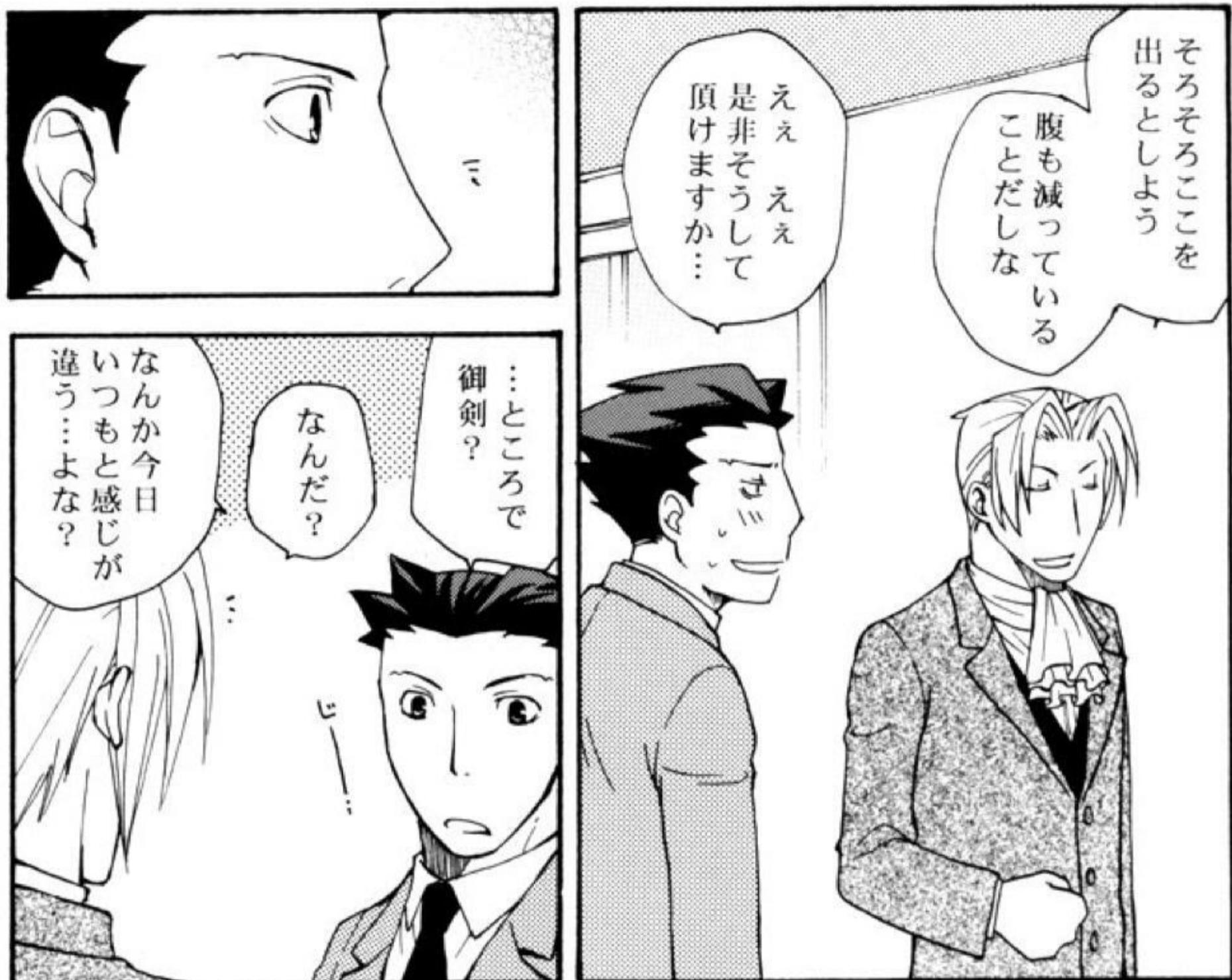
御剣…

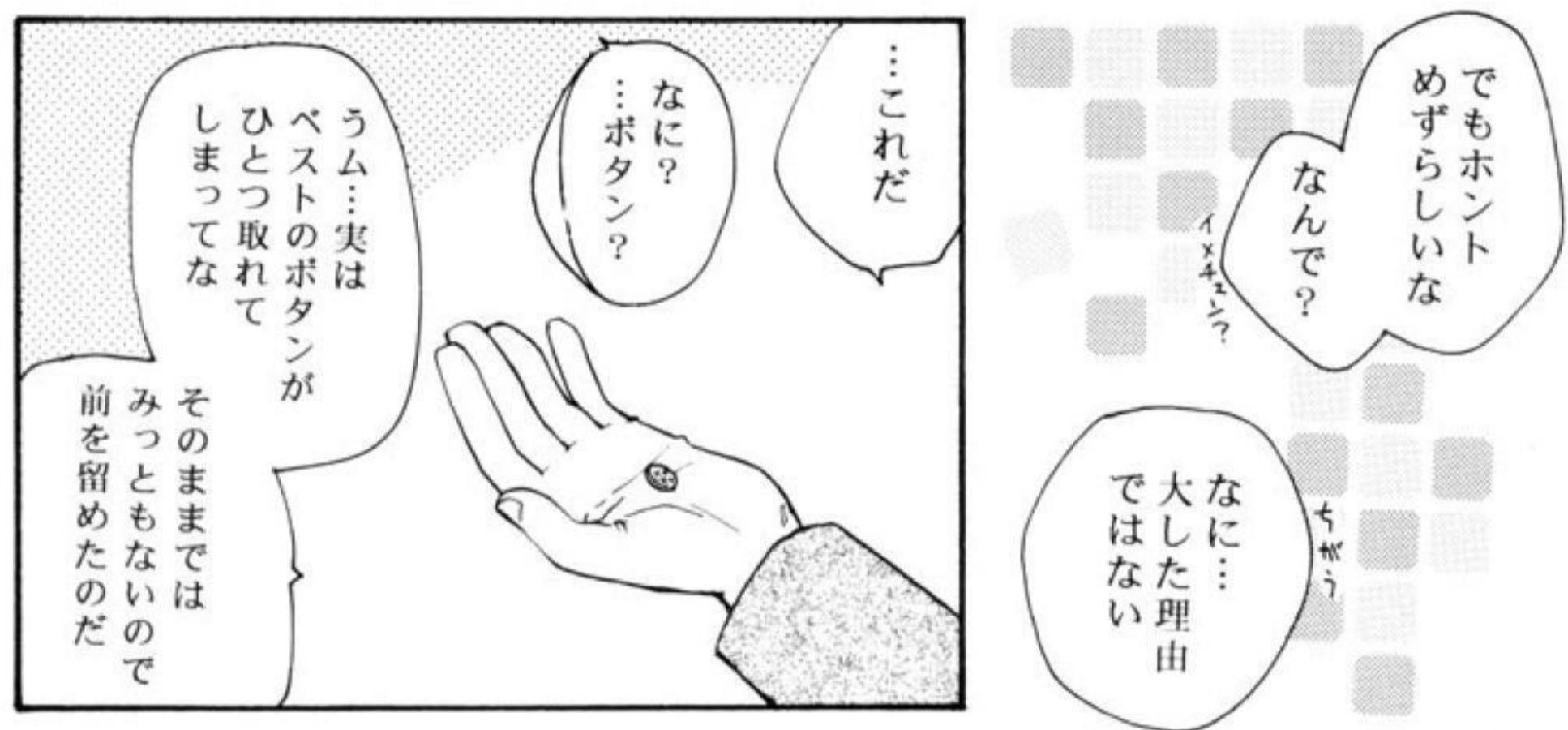












いやいやいや！
時間かかりすぎ
だからソレ！

私とてボタンつけの
ひとつくらい
二時間もあれば
終わらせてみせるつ

ム…！
失礼な

それにツルなら
今は折れる…
…多少ズレても

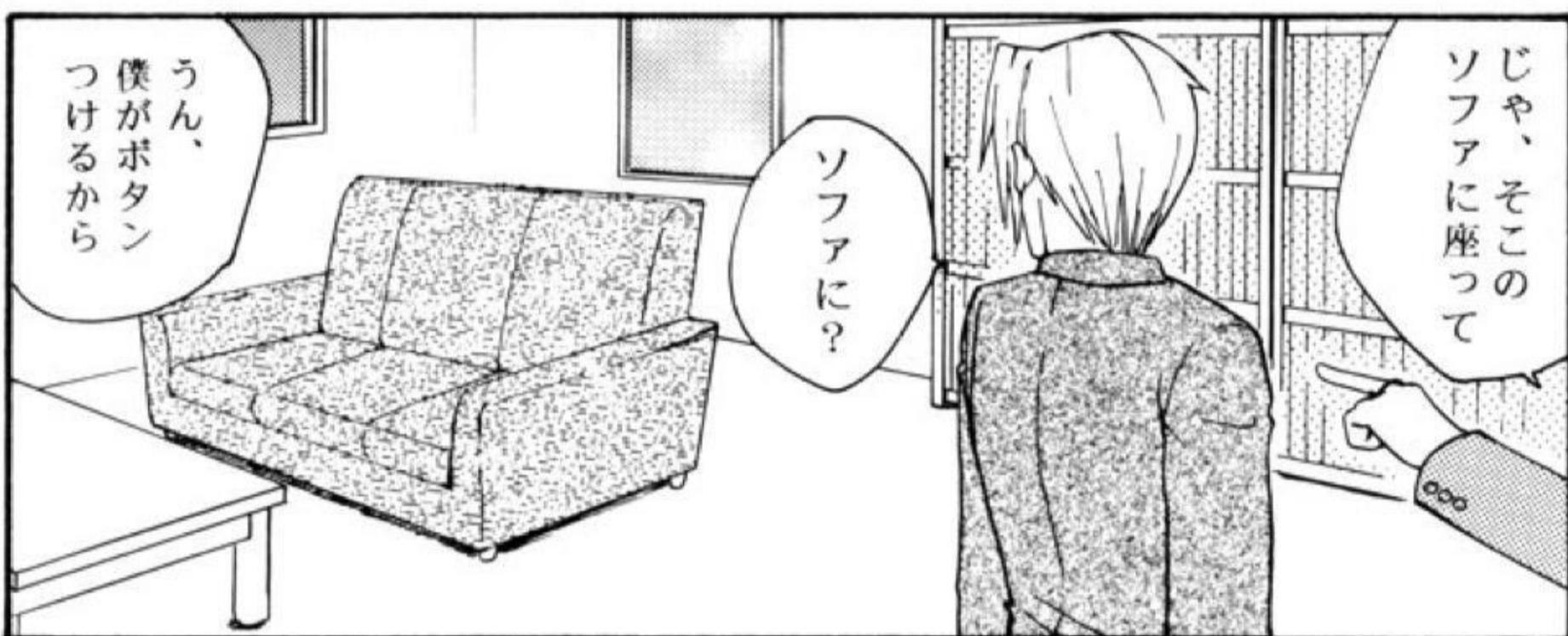
か…つ
そこから

針に糸を通すのに
一時間程必要だが

そこが一番の難関だな

む…何故と
言われても
…そうだな
まず…

なんでそんなに
時間がかかるんだよつ



綾里弁護士の？

うん

まだこの事務所に入りたての頃にさ、僕が袖口のボタンがとれたままのシャツを着てたら

いい？
なるほどくん

ソーアイニングセツトを
僕にくれたんだ
つて自分の
ソーアイニングセツトを
依頼人の前に
立てるよう常に
身なりにも気を
つけなさい

とまあ
そんなワケで
針と糸ならあるし

どうかな？
普段ふてぶてしい
クセに妙なトコで
遠慮がちな
検事さん？

むつ：

僕なら10分も
かからずには
終わるけど？

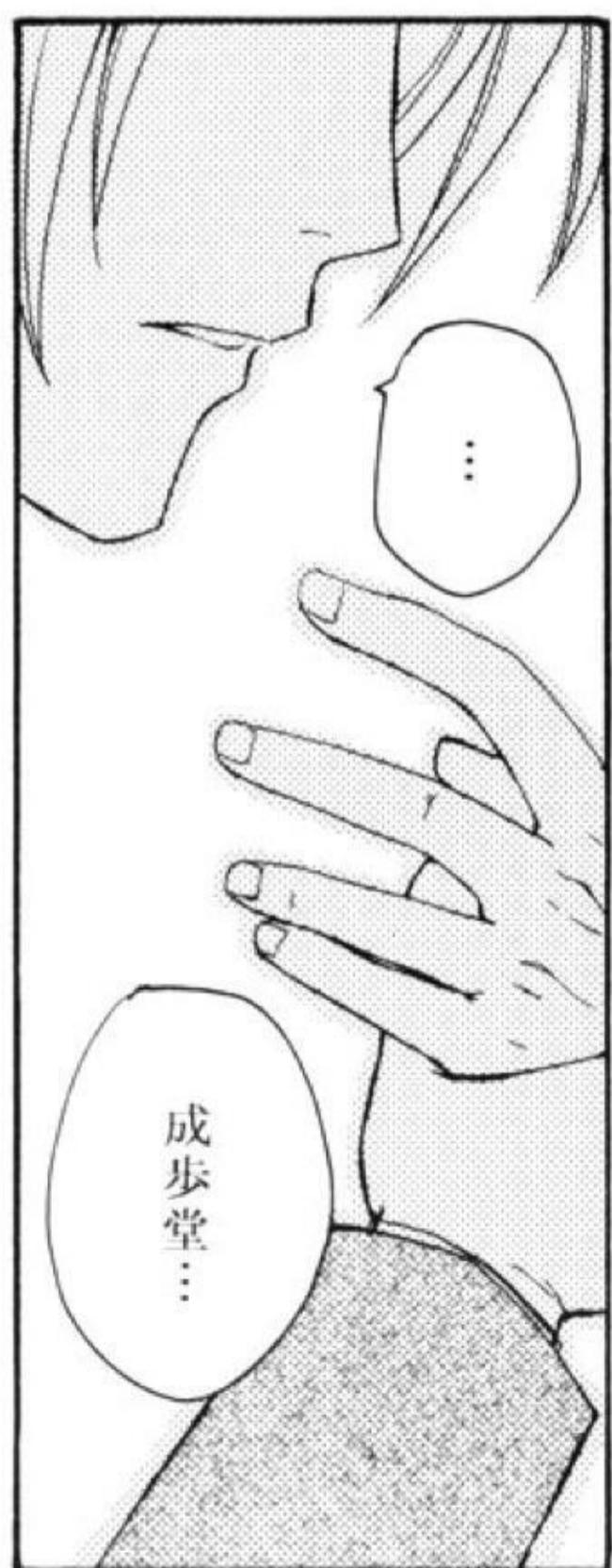
ズイ

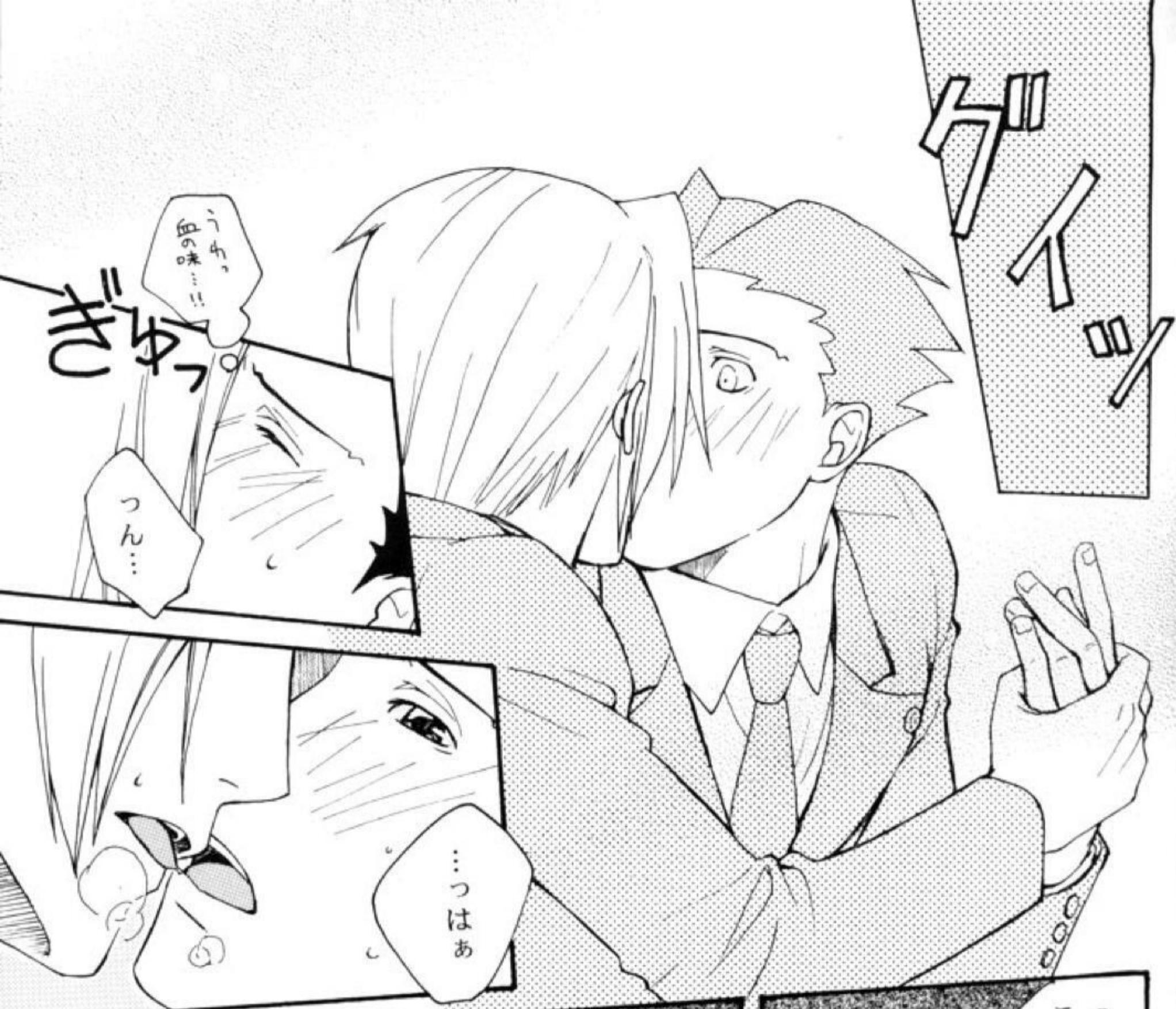
今じや形見に
なつちやつたけどな

成歩堂







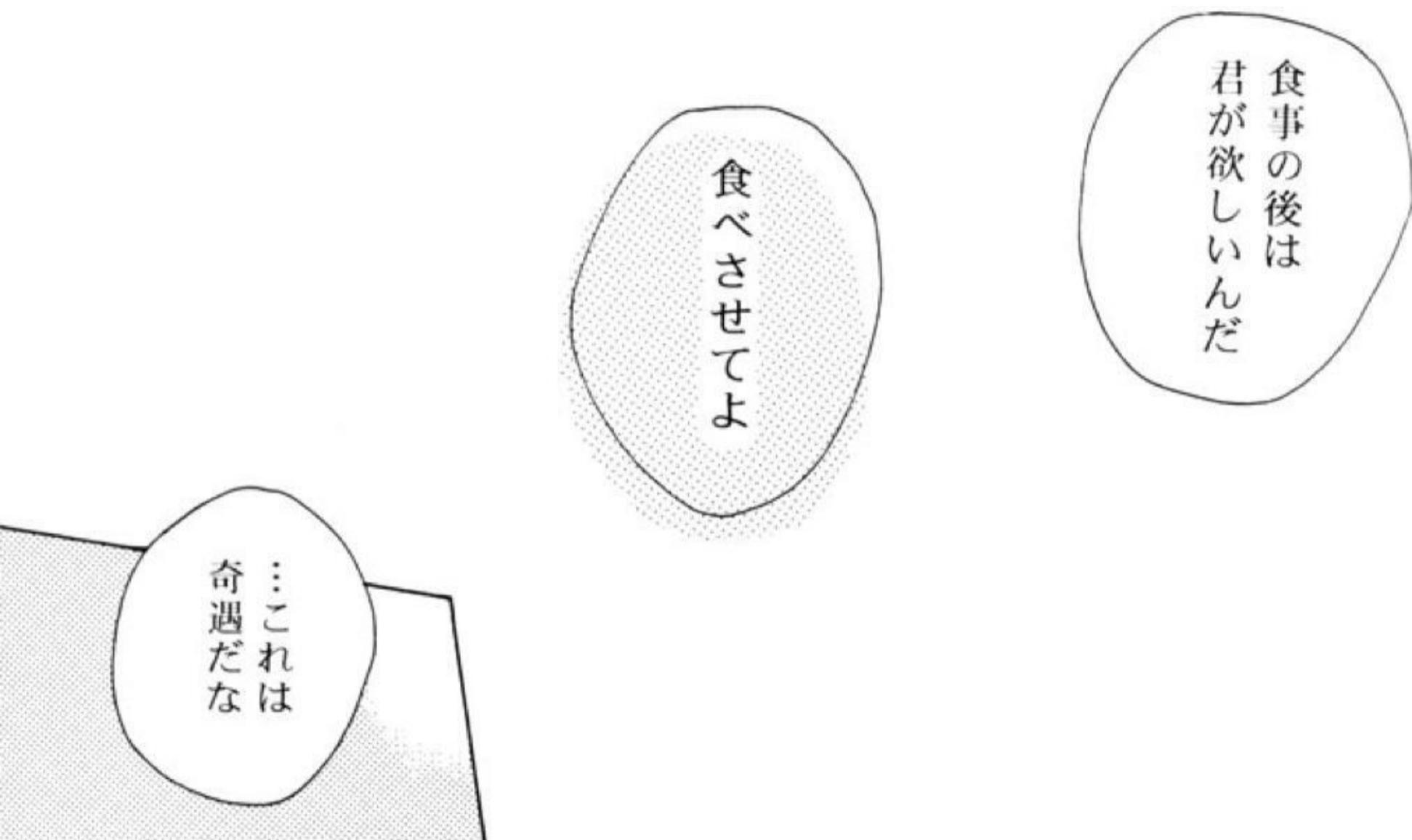












END.

Life is GOOD

You know life is good in it together always you and me.

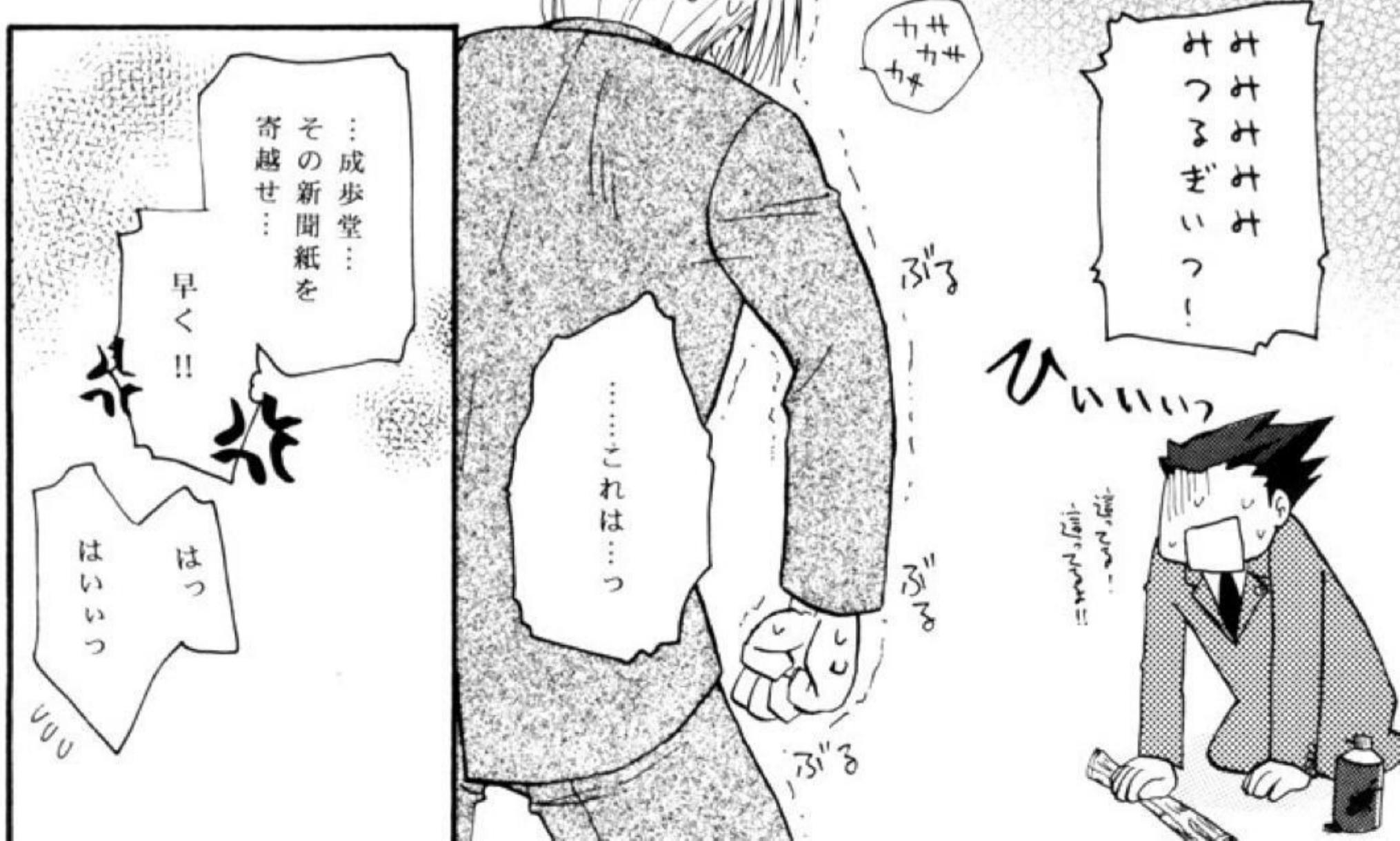


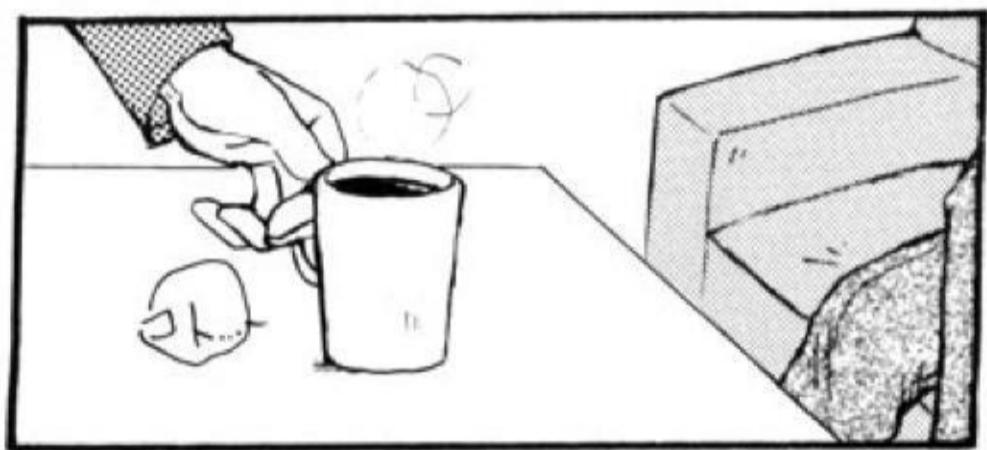
こんにちは、赤城はるなです。逆裁1の発売当時から育んでいたミツナル萌えが高じて、とうとう本を出してしまいました(笑) だって好きなんだよミツナルがさあ…! 世間じゃどうにも逆王道のようですが、それはそれ。こっちはこっちで楽しみましょう。

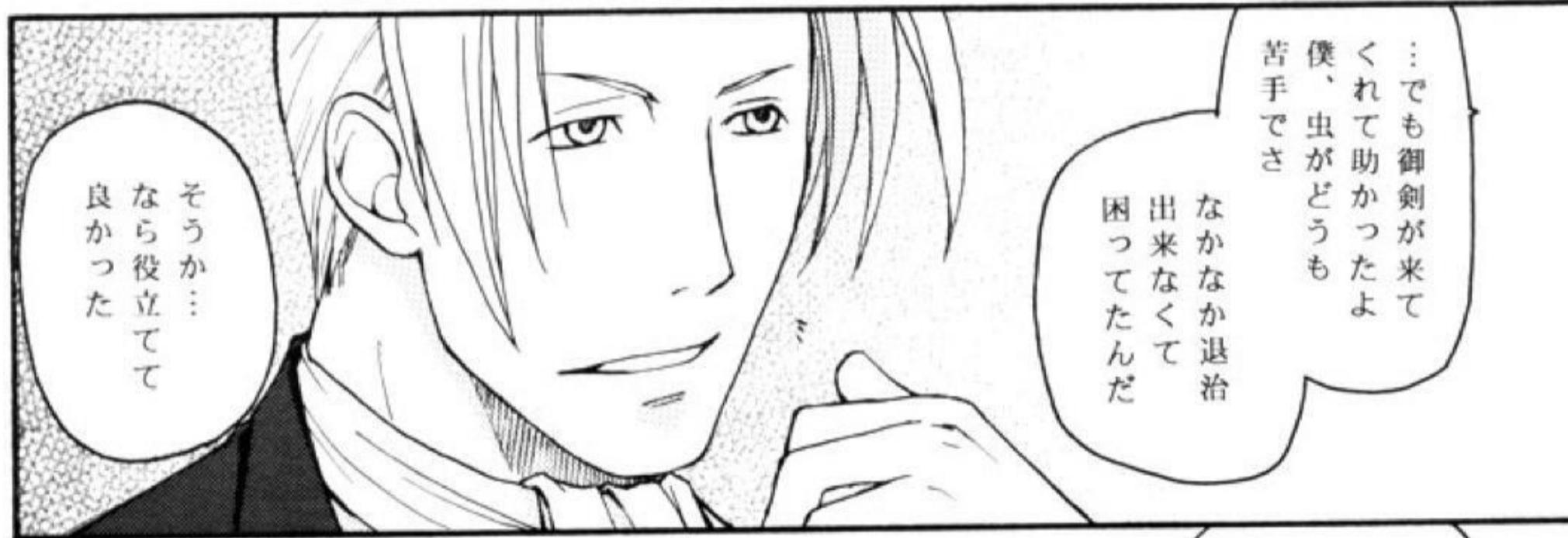
次頁からのマンガは、昨年夏に発行されたミツナルアンソロジーに描かせて頂いたものになります。そちらの本をお持ちの方には申し訳ありませんが、どうかご容赦くださいませ。…しかしホント、絵柄が落ち着かないね自分(汗) 逆裁は難しいです。















御剣三



全く君と
いう奴は……！

つ…くつ…

ここで「可愛い」
などと言つたら
君は更に
怒るのだろうな

わつ：
笑うなつて！
けつこう恥ずかし
かつたんだぞつ

いや失礼：

くっくっく？…

では私からも礼として
君の唇は私が念入りに
口直しさせて
差し上げよう

いつ異議あり！
いきなり調子づくな
このバカ檢：つ

むく…つ

END.

はい、ここまで読んで下さってありがとうございます。

当初の予定では二人がくっつくまでのシリアスな話を描くつもりだったんですが、蓋を開けてみればこのザマでした（汗）。ただのバカップルじゃん…！シリアス話、1年位温めてたんだけどなあ（苦笑）クツ…、これもまた人生、だぜ…！

ところで今回この原稿中、コートのボタンを紛失しました。そして昨年、アンソロの原稿中は某昆虫と、それまでの人生からはありえない回数の遭遇を果たしました。…これはつまりアレですか、宝くじにでも当選するミツナル漫画を描けば、私にも当たるってことですか？（笑）うわー、描いてみてえ。…あ、でもその前に私、そもそも宝くじを買わない人間だった…ダメじゃん（ガクリ）。

この本を読んで下さった方に、少しでも楽しんで頂けたなら嬉しいです。どうもありがとうございます！

Life is GOOD

2005.02.06 Gyakuten-saiban Fan Book

Haruna Akagi / Spiegel Fish [http://www.sky.sannet.ne.jp/haruna/]

Götte is GOOD

Gyokuten Saiban Fan Book
MOTTERUGI E NARUHODOU
Presented By Spiegel Fish

